令和４年度　江戸川区立篠崎第二中学校　学校関係者評価　最終評価用報告書

学校教育目標	心身ともに健康で、豊かな心を持ち、深く考え、自ら学ぶことのできる生徒の育成	目指す学校像 目指す生徒像 目指す教師像	・人権が尊重され、生徒が安心して学ぶことができ、関わる人が信頼で結ばれた学校 ・将来への夢を持ち、夢の実現に向けて自己の向上に主体的に取り組む生徒 ・生徒を大切にし、研修に意欲的で、組織的に協働・連携する教職員
前年度までの学校経営上の成果と課題	＜成果＞・落ち着いた学習環境の確立　・何事にも主体的に取り組み成長を遂げる生徒　・部活動への熱心な取組と対外的な成果　・特別支援教育の充実　・若手教員の育成 ＜課題＞・確かな学力の定着　・生徒が分かったと実感できる授業の実践　・家庭学習習慣の確立　・基礎学力の充実を目指した小中連携の推進		

教育委員会重点課題	取組項目	評価の視点	具体的な取組	数値目標	自己評価			学校関係者評価		来年度に向けた改善策
					取組	成果	成果と課題	評価	コメント	
いきいきと学ぶ学校づくり	確かな学力の向上	・7つの主な事業（取組）に対しての学校の組織的な対応による取組の実施・充実	補充学習、考査前の質問教室、夏季休業中補習教室	補充教室：放課後（学研エルスタッフィング） 質問教室：定期考査前（各学年教科ごと）	A	B	・各学年の放課後補充教室への積極的な生徒の参加 ・定期考査期間中以外の家庭学習習慣の確立	B	補充教室など学校では、取り組めているようだが家庭の協力が不可欠である	今まで以上に家庭との連携を密にし、定期考査期間以外の家庭学習の定着を目指していく 放課後補修の英語を活用していく
	体力の向上	・「運動意欲の向上」に向けた取組の実施・充実	毎時間の体育の授業における持久力向上に向けた時間走の実施	気温や天候などを考慮し、原則毎時間	A	A	・毎時間天候や気候に合わせた、時間走の実施による持久力の向上	A	授業での取り組みを聞き、年度末の持久力向上が期待できそうだ	体力測定の結果を十分分析し、生徒の持久力向上の状態を見極めながら継続して、時間走を継続していく
	読書科の更なる充実	・読書を通じた探究的な学習の実施・充実 ・それぞれのテーマに沿った探究的な学習の実施	・学校図書館のさらなる充実と、蔵書を活用した調べ学習の実施 ・個人新聞等を作成させ、発表させる授業の実施 ・1年生はSDG's、2年生は自分で、3年生は各自おすすめの本からテーマを絞り、作文やポスター、掲示物作成など、探究活動を行う	単元や教材により適宜 プレゼンテーションによる発表（全学年） 文化祭に掲示発表（3年生）	A	A	・今まで以上に使いやすい学校図書館の整備 ・推薦図書のさらなる充実 ・それぞれ学年ごとに探究的な学習をすすめることができた ・学校図書館とiPadの両立した活用に課題が残った	A	以前と比べると学校図書館が大分整理され使いやすく改善されている。書棚の入替、壁の塗り替え、床の張替えなどより一層の環境整備が進むと聞いて非常に楽しみである。 文化祭での成果物を観ることは出来なかったが、生徒それぞれがテーマに沿った読書科の活動を進めていることが分かった。	図書委員会の主的な活動を目指し実践していく 蔵書の充実による、さらなる読書活動の推進を図る
特別支援教育の推進	共生社会の実現に向けた教育の推進	・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた個に応じた指導の充実 ・エンカレッジルームの活用促進 ・副籍交流、交流及び共同学習の充実	・週1回の教育相談委員会での情報共有の徹底 ・不登校加配教員を活用した生徒対応 ・副席交流のある学校との文書での交流	週1回実施 適宜対応	A	A	教育相談委員会が機能し、不適応の未然防止、早期発見、早期対応による解決に向けての実践	A	不適応の生徒に対しての学校体制及び取り組みが十分理解できた	今後も、教育相談委員会での情報共有を基に対策をとり、早期対応を学校体制で実施していく。SSWと連携を図り十分活用していく
	子供たちの健全育成	・子供たちの健全育成に向けた取組の強化	校内いじめ対策委員を機能させ、いじめの未然防止・早期発見・早期解決	適宜開催	A	A	いじめ対策委員会が機能し、いじめの未然防止、早期発見、早期対応による解決に向けての実践	A	いじめに対しての学校体制及び取り組みが十分理解できた	今後も教職員一同、「いじめは絶対に許さない」ということを生徒に伝えていく
学校と家庭、地域、関係機関との連携強化	学校関係者評価の充実	教育活動の改善・充実に向けた学校関係者評価の実施・改善	保護者や学校評議員による教育活動の観察や意見交換を通じて、自己評価の結果について評価する	年1回実施	C	C	コロナ禍であり、保護者や学校評議員による教育活動の観察や意見交換が十分できていない	C	コロナ禍ではあるが、状況を見極めて今後の開催を期待している	コロナの状況を見極め、開催し意見交換を行っていく
特色ある教育の展開	「学校における働き方改革プラン」	「学校における働き方改革プラン」に基づく取組の実施	・月の時間外勤務が80時間を超える教員をゼロにする ・日常業務の見直しによる役割整理や明確化 ・会議、研修会の効率化 ・ガイドラインに沿った部活動の運営	・適宜声がけによる対応 ・学期末 ・適宜対応 ・適宜声がけによる対応	A	A	月に1回定時退勤日による、働き方改革の実践	A	学校教育の充実と並行して、教職員の健康を維持してほしい	業務のデータ化を進め、さらなる効率化を目指していく